

平成 27 年度
教科に関する科目
生 活

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は 2 問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1 問につき 1 枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 60 分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問1 『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成20年8月)「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」の「1 指導計画作成上の配慮事項 (3)」で述べられた「国語科、音楽科、図画工作科など他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにすること。特に、第1学年入学当初においては、生活科を中心とした合科的な指導を行うなどの工夫をすること。」について、次の問いに答えなさい。

- (1) 他教科等との関連を図った指導、合科的な指導とはなにか。記述しなさい。
- (2) 他教科等との関連を図った指導の在り方とは具体的にどのようなものが考えられるか。生活科の学習成果を他教科等に生かす例と、他教科等の学習成果を生活科に生かす例をそれぞれ一つずつ記述しなさい。
- (3) 第1学年入学当初に生活科を中心とした合科的な指導を行うことが求められるのはなぜか。記述しなさい。

問2 『小学校学習指導要領解説 生活編』(平成20年8月)「第3章 生活科の内容 第2節 生活科の内容 (4)」では、改訂により「公共物や公共施設を利用し」という文言が加わったことが示されている。このことについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 公共物や公共施設を利用する学習活動の具体例を一つ示しなさい。その際、その活動の目標と身に付けさせたい力を明確に記述しなさい。
- (2) (1)で示した公共物や公共施設を利用する学習活動の具体例について、「第5章 第4節 学習指導の進め方」に示された四つの項目「振り返り表現する機会を設ける」「伝え合い交流する場を工夫する」「試行錯誤や繰り返す活動を設定する」「児童の多様性を生かす」に即して、指導の際に工夫することを記述しなさい。